



SPECIAL ACTIVITIES

地域社会への貢献

可能性を拓く独自の取り組み。

自分のことだけでなく周囲の人や社会の出来事に関心を持ち、国際社会について思いを馳せ、未来を切り拓き行動できる人を育てるために、さまざまな取り組みを行っています。



ICT

ICT教育

ICTを活用した授業が可能に。

ICT教育とは、情報通信技術の利用または活用方法を教育の一環として取り入れた教育のことです。平成28年度2学期から「電子黒板」を導入。インターネットとつなげることでコンピュータとリンクした授業が可能になりました。教室にしながら、地域社会や国際社会とつながることができ、より幅広い学習ができます。また、今年度入学生から「iPad」を活用した授業を行っています。「ロイロノート(*1)」でアクティブラーニングを展開し、そして「生徒の学習」、「先生の授業・生徒指導」を支援する「Classi(*2)」を導入しています。

CHECK

1 「エコアクション21」認証・登録により、環境への関心がさらに高まっています。

近畿初!!

本学園では自治会・生徒会が中心となって活動する「クリーンキャンペーン・ゴミ計量・ペットボトルキャップ回収」をはじめ、「節電運動」「太陽光発電パネル設置」などを行ってきました。生徒と職員が丸となって環境問題に取り組んでいることが高く評価され、近畿圏の学校で初めて、(財)地球環境戦略研究機関持続性センターが主体となって推進する「エコアクション21」に認証・登録されました。今後も、環境問題に積極的に取り組み、環境意識の高い人を育てて参ります。

太陽光発電システム導入 大阪学芸が取り組んでいる活動一例

平成23年事業(新エネルギー等事業者支援対策事業)として導入しました。本館7階屋上に設置され、施設内の電気負荷へ給電を行います。



▲本館7階屋上に設置された太陽光発電パネル



▲1日の発電量がわかる使用電力表示装置

CHECK

2 セレッソ大阪のオフィシャルパートナー

セレッソ大阪のパートナーとして、スタジアム清掃活動やセレモニー参加などの活動を行っています。

【オフィシャルパートナーの活動】

- 1 合同で地域貢献活動・ボランティア活動を実施。
- 2 セレッソ大阪の選手による講演や文化祭・サッカー教室への参加。
- 3 セレッソ大阪ホームゲームでの大阪学芸サポーターズマッチの開催。



CHECK

3 2010年ユネスコスクールに認定

ユネスコは、フランス・パリに本部をもつ国連教育科学文化機関です。本校は、2010年11月15日、ユネスコが推進するユネスコスクールへの加盟が認められました。ユネスコスクールは、世界182か国で約10000校あり、日本では平成29年5月時点で1037校が認定されています。ユネスコスクールは、グローバルなネットワークを活用し、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発を目指し、持続発展教育(ESD)を推進しています。本校でも、「総合的な時間の学習」や「課外活動」で、環境教育や世界遺産学習、国際理解教育などに取り組んでいます。(P9参照)



全館にWifi環境、全教室に「電子黒板」を完備。1人1台の「iPad」



「Classi」による一日の振り返り



「iPad」を用いたグループワーク



*1. ロイロノートとは、授業支援アプリで、動画や写真、メモなどを線で直感的につなぎ、関係性を容易に伝えることができます。これまでの知識伝達型の授業から、生徒の考えや意見を取り入れた授業を進めることができ、また生徒に自分の意見について発表をもらうことで、大多数授業で生徒が積極的に参加できる双方向の授業が展開できます。

*2. Classiとは、iPadに宿題や小テスト、配布物などを配信するクラウドサービスで、日々の学習を記録・集計する「生徒カルテ」、SNSでは難しい教師と生徒と家庭のコミュニケーションツールやデータの共有ができる「コミュニケーション」の機能があります。